

まや輟糸の字日本紀より輟輟糸竹と訓む

おく太平記曰保則ハ秋津煙を素人と稱せ
られり。り九月ハ詔曰大地震云々關東
ハ震りり。夜遅引の上を元ハ詔りし
りを内々津煙の賊徒とも稱素を乞なりし
也。翌年正月悉人質亦を元堅め出羽奥
州ともにを為よ治め天下を平を唱へり
と云々。お件尚郡の下に記を太平山といふ
ハ輟夷王化よなれて上下万歳を唱へり
太平山といハ稱りり。と云。

同冬十月十二日甲戌出羽国司飛驒奏言
秋田宮申牒傳八月二十九日逆賊三百餘
人來於城下願見官人時得乞降權掾文屋
有房左馬權大允藤原滋實二人單騎直到
賊所賊先申心憂次乞降有房等雖不被明
詔而豫聽其降是日陸奥權外從五位下大
上大宿祢好蔭率兵二千人自流霞道至秋
田宮賊乞降之日好蔭鼓躁而來盛建旗幟
示威賊虜論之當時似有遠畧又鎮守將軍
從五位下小野朝臣春風九月二十五日率